

令和6年6月17日

森林を守ろう！山陰ネットワーク会議事務局 様

会員名：讃郷愛林協会

代表：田栗 栄一

「交流助成事業」活動実施報告書

1. 開催日時 令和6年6月9日（日）9：00～14：00
2. 会 場 郷原漆器の館 （岡山県真庭市上福田 425、他漆林）
3. 参 加 者 合計 15 人 [1 団体、個人 7 人]

団体名・個人名	参加人数	団体名・個人名	参加人数
① 讃郷愛林協会	8	⑥ 岸下 ようこ	1
② 灘尾 武治	1	⑦ 増田 美砂	1
③ 石賀 英明	1	⑧ 田栗 明美	1
④ 山田 遼平	1	⑨	
⑤ 岸下 恒夫	1	⑩	

4. 活動内容

- (1) 活動の内容説明 ・ディロング講師の紹介等
- (2) ウルシ林の見学 ・漆の木の特性 ・漆の採取方法 ・木の後処理方法等
- (3) 漆器の館見学 ・漆器製造の説明 ・成形作業見学
- (4) 昼食等 ・昼食 ・講師との質疑応答
- (5) 郷原部落訪問 ・当地は大山への街道沿いに位置する主要生産場所
・漆器販売地域（山陰は松江・出雲・米子方面が主力）

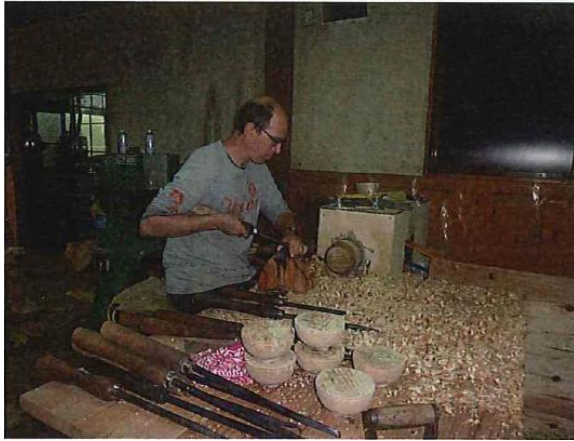
5. 交流事業の写真



郷原漆器の館作業場での説明



うるし林にて



栗材をろくろで成型する



郷原部落の巨大鳥居前にて

郷原漆器の特色は、生の栗材で芯から削り出したものを使用する事です。

6. 見学会の感想（アンケート）

- ・うるし掻き、初めて見ました。殺し掻きで 15 年掛けて育てた木を 1 年で倒すことに驚きです。木から器の型を作る工程をみせてもらい良かったです。ありがとうございました。
- ・ひるぜん郷原漆器の工房見学では、漆木にキズを付けて漆を取るところまでの説明が楽しかった。工場で漆の樹の中心の生木を見て、削っておわんになるのはすばらしかったです。
- ・テレビで輪島塗の行程とか、木地から削って形を造る工程とか見たりしていましたが、実際に考えたことのない苦労があるのだなあとしみじみ思いました。
うるしは採取できる量もわずかで、その液も木によって性質が違う…。 はじめて知ることばかりで、とてもおどろきました。
重箱、菓子器、スプーン、お椀など家でもふだん使用していますが、これからは丁寧に扱い、今日のことを思い出して、ありがたく使わせていただこうと思います。
- ・うるし林と工房の見学は良い組み合わせでした。講師のディロングさんが伝統産業の継承を重苦しくなく現実的に考えておられるのが印象的でした。
- ・二度目の訪問でしたが、作業されるディロングさんがどんな細かい事にも、丁寧に答えて下さり、また実演も見られてとても良かったです。良い企画でおもしろかったです。